

安全データシート

1.製品及び会社情報

製品名 感圧紙用チェッカーⅡ
会社名 エム・ビー・エス株式会社
住所 〒104-0033 東京都中央区新川 1-24-1
担当部門 技術本部
電話番号 03-5244-9287
ファックス番号 03-5542-7771
整理番号 1-01-05-011-01

2.危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	可燃性/引火性エアゾール	区分 1
健康に対する有害性	皮膚腐食性/刺激性	区分 2
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2
	生殖毒性	区分 2
	特定標的臓器毒性	区分 3

* 危険有害性の大きさ:区分は数字の小さいほど危険性/有害性が高い。
* 上に記載がない危険有害性は、「分類対象外」または「分類できない」である。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険有害性情報

危険
極めて可燃性/引火性の高いエアゾール。
高圧容器:熱すると破裂のおそれ。
皮膚刺激。
強い眼刺激。
生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い。
眠気やめまいのおそれ。

注意書き

安全対策

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。裸火または他の着火源に噴霧しないこと。加圧容器:使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。保護手袋/保護眼鏡/保護面等を着用すること。粉じん/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。取扱い後は手をよく洗うこと。屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

応急措置

漏えい(洩)ガス火災の場合:漏えいが安全に停止されない限り消火しないこと。安全に対処できるならば着火源を除去すること。皮膚についた場合:多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時には医師に連絡すること。飲み込んだ場合:気分が悪い時は、医師に連絡すること。口をすすぐこと。ばく露またはばく露の懸念がある場合:医師の診断/手当てを受けること。日光から遮断し、40℃を超える温度に暴露しないこと。容器を密閉し、涼しく換気のよい場所に施錠して保管すること。

保管

廃棄

国/地域情報

内容物/容器を国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。
「15. 適用法令」の項 参照

3.組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分	CAS 番号	官報公示整理番号		含有量 (%)
		化審法	安衛法	
1-クロロブタン	109-69-3	2-60	----	40 - 60
ジメチルエーテル	115-10-6	2-360	----	40 - 60
3,3-ビス(p-ジメチルアミノフェニル)-6-ジメチルアミノフタリド	1552-42-7	5-129	----	0.1 - 1

※ 原則として1%以上含有する成分を記載しています。

注: 化学物質名称の後の【】の中に以下の情報を記載しています。(記載のない場合は非該当です。)

「PRTR 特 1」は、化学物質管理促進法 特定第一種指定化学物質

「PRTR 1」は同法 第一種指定化学物質

「PRTR 2」は同法 第二種指定化学物質

「安衛通知」は労働安全衛生法の通知対象物を指します。

なお、化学物質管理促進法に該当する物質の場合、同法別表中の政令番号を併記しています。

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	汚染された衣類を速やかに脱ぎ、皮膚を流水/シャワーで洗うこと。刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受ける。
目に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズをしていて容易に取り外せる場合は取り外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。
飲み込んだ場合	水で口の中を洗浄し、医師の診断を受ける。無理に吐かせない。
応急措置をする者の保護	救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤	初期消火には炭酸ガス、粉末消火器、泡消火器等を使用する。
使ってはならない消火剤	情報なし
特有の消火方法	消火作業は、可能な限り風上から行う。漏出した物質や消火用水等が、河川等に排出されないように配慮する。関係者以外は速やかに安全な場所に退去させる。
消火を行う者の保護	消火作業では、適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	作業の際には適切な保護具を着用する。(「8. 暴露防止及び保護措置」の項 参照)
環境に対する注意事項	薬品が河川等に排出されないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法・機材	漏洩した薬品を適切な方法で回収したのち、漏洩箇所を大量の水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。取り扱った後、手を洗うこと。喫煙、裸火その他の着火源の使用をしない。
局所排気・全体換気	適切な換気がされている場合のみ使用する。
注意事項	「8. 暴露防止及び保護措置」の項 参照 裸火、熱源または発火源の近くで、取り扱ったり、保管したり、開けてはいけな。直射日光に当てないようにする。
安全取扱い注意事項	「10. 安定性及び反応性」の項 参照 その他、消防法、労働安全衛生法に定めるところに従う。
保管	
適切な保管条件	火気厳禁。直射日光を避け、冷暗所に保管する。風通しをよくし、蒸気が滞留しないようにする。
安全な容器包装材料	十分な強度を有する金属容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	換気を十分に行う。近くに水道および洗眼設備を設置する。
保護具	
呼吸器の保護具	適切な呼吸用保護具を着用する。
手の保護具	適切な手袋を着用する。
目の保護具	眼の保護具を使用する。飛散の危険がある場合はフェースシールドを着用する。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用する。
適切な衛生対策	取扱中は禁煙。眼に入らないようにする。正しい産業衛生と安全規定に従って取扱う。

9. 物理的及び化学的性質

外観	
形状	エアゾール液体（スプレー缶）
色	透明
臭い	特有の臭い
pH	非該当
融点・凝固点	データなし
沸点、初留点と沸騰範囲	78.5 ° C (173.3 ° F)
引火点	-10 ° C (14 ° F) およその値 ; ガス状態の引火点 : -41.1 ° C
自然発火温度(発火点)	未測定
燃焼範囲一下限(%)	3.4 % v/v ガス

燃焼又は爆発範囲－上限	27 % v/v ガス
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
比重(相対密度)	0.89 20 °C
密度	データなし
溶解度(対水)	不溶
n-オクタノール／水分配係数	データなし
分解温度	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	通常の条件では安定。
危険有害反応可能性	燃焼により、刺激性もしくは有毒なガスを発生する可能性がある。
避けるべき条件	静電放電、加熱、衝撃、圧力。
混触危険物質	強酸化性物質との接触を避ける。
危険有害な分解生成物	一酸化炭素、炭酸ガス 塩化水素。

11. 有害性情報

製品	種	試験結果
スプレーチェッカーⅡ		
急性経口LD50	ラット	> 2000 mg/kg, 急性経口毒性は低い。
成分情報) ジメチルエーテル		
急性毒性(吸入:蒸気)	: 区分外	ラット LC50: 164,000ppm
特定標的臓器毒性(単回暴露)	: 区分 3	ヒト意識喪失、視野喪失、痛覚喪失
成分情報) 1-クロロブタン		
急性毒性(経口)	: 区分外	ラット LD50: 2,670mg/kg
急性毒性(経皮)	: 区分外	ラット LD50: 17,800mg/kg
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: 区分 2	ウサギ皮膚刺激性試験中等度から重度の刺激性
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	: 区分 2B	ウサギ眼刺激性試験軽度の刺激性
生殖細胞変異原性	: 区分外	ラットエームス試験陰性
発がん性	: 区分外	EPA 評価 D(ヒト発がん性に分類できない)
生殖毒性	: 区分 2	ラット妊娠期間中経口ばく露 仔を交差交配第二世代で胎児死亡率が増加

12. 環境影響情報

生体蓄積性	情報なし
生体内蓄積の可能性	
オクタノール／水分配係数	log Kow
1-クロロブタン	2.39
土壌中の移動性	情報なし
他の有害影響	情報なし

13. 廃棄上の注意

スプレー缶は使いきって廃棄する。廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理する。
処理業者には危険性、有害性を充分告知の上、委託すること。

14. 輸送上の注意

船舶輸送は、危規則の規定による。 航空輸送は、IATA 規則の規定による。

----- 海上輸送もしくは航空輸送を行う場合は以下の情報を輸送会社にお渡し下さい。 -----

国際規制	国連分類 : クラス2(高压ガス)
	国連番号 : 1950
	品名 : 引火性高压ガス
	MARPOL 73/78 附属書Ⅱ及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質
	: 非該当
国内規制	: 輸送に関する国内法規制に該当するので、各法の規定に従った容器、積載方法により輸送する。
輸送の特定の安全対策及び条件	: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れのないことを確かめる。転倒、落下、破損のないように積み込み、荷くずれ防止を確実にを行う。
	該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。火気厳禁。



緊急時応急措置指針番号 126

15. 適用法令

化審法

第一種 特定化学物質:	該当しない
第二種 特定化学物質:	該当しない
監視化学物質:	該当しない
優先評価化学物質:	該当しない

労働安全衛生法

危険性物質 引火性	引火性物質
危険性物質 引火性ガス	可燃性ガス
危険性物質 酸化性	該当しない
危険性物質 爆発性	該当しない
危険性物質 発火性	該当しない
有害性物質 発がん性	該当しない
特化則 第一類:	該当しない
特化則 第二類:	該当しない
特化則 第三類:	該当しない
有機則 第一種:	該当しない
有機則 第二種:	該当しない
有機則 第三種:	該当しない
通知対象物質:	該当しない
表示対象物質:	該当しない
その他:	該当しない

毒物及び劇物取締法

法 特定毒物:	該当しない
施行令 特定毒物:	該当しない
法 毒物:	該当しない
施行令 毒物:	該当しない
法 劇物:	該当しない
施行令 劇物:	該当しない
施行令 32 条 2 興奮、幻覚又は麻酔の作用を有する物:	該当しない
施行令 32 条 3 発火性又は爆発性のある劇物:	該当しない
毒物除外:	該当しない
劇物除外:	該当しない

消防法

第1類 酸化性固体:	該当しない
第2類 可燃性固体:	該当しない
第3類 自然発火性物質及び禁水性物質:	該当しない
第4類 引火性液体:	第一石油類(非水溶性液体) 危険等級Ⅱ
第5類 自己反応性物質:	該当しない
第6類 酸化性液体:	該当しない
指定可燃物:	該当しない
貯蔵量記録:	該当しない

化学物質管理促進法 (PRTR 法)

特定第一種指定物質	該当しない
第一種指定化学物質:	該当しない
第二種指定化学物質:	該当しない

16. その他の情報

記載内容は現時点で入手できた情報に基づいて作成しておりますが、記載データや評価について完全性を保証するものではありません。危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取り扱いには十分注意して下さい。注意事項は当製品についての通常の取り扱いを対象にしたものであって、それ以外については、ご使用者の責任において安全対策を実施の上お取り扱い願います。

作成部門: エム・ビー・エス(株) 技術本部